

第 24 回九州森林管理局分収林評価委員会【議事概要】

- 1 日 時 令和 7 年 8 月 27 日（水）10：00～11：30
- 2 場 所 九州森林管理局 2 階 大会議室
- 3 議 題 国による費用負担者の持分買受価額について（別紙 1 参照）
- 4 出席者 分収林評価委員 3 名（弁護士）（不動産鑑定士）（技術士）
森林整備部長、森林整備課長、地域業務対策官
森林整備課課長補佐、資源活用課長期安定供給係長
資源活用課収穫係、分収林係長、分収林係
- 5 議事概要 国による持分買受価額について当該委員会で審議した結果、適正に評価されていると認められ、承認された。

【主な質疑応答】

- （委 員） ヘクタール当たりの材積が高く、林齢の割には本数が多い箇所も見受けられるが、調査は毎木調査で実施しているのか。また、ヒノキの成長が悪い箇所もあるが、尾根筋の成長が良くないからなのか。
- （事務局） 毎木調査で実施している。また、各箇所を比較した場合、成長が良くない箇所もある。
- （委 員） 6 号議案の図面について、土場から契約地までの黒い点線は何か。また、契約地内に道は入っているのか。
- （事務局） 黒い点線は既存の作業道である。また、契約地内に道は入っていないので、図面には新設路網を示している。
- （委 員） 調査は毎木調査で実施していると伺ったが、評価を見直す際も毎木調査を実施しているのか。
- （事務局） 分収育林箇所には成長量プロットを設定しており、毎木調査を行った後に成長量プロットを設定して、数年後の再調査の際にプロット箇所の調査を行い、成長量を算出している。
- （委 員） 立木評価の見直しは毎年行われているのか。また、評価委員会で決定するのは、契約者の持分を国が買取る買受価額を決めるものなのか。

（事務局） 契約期間が満期に到来し、買受もしくは販売の意向で纏まった物件について立木評価を行っており、国が持ち分を買取る買受価額を決定する委員会となっている。

（委員） 公売（販売手続き）において予定価格を設定するが、今回の買受価額と同額なのか。また、持分買受の制度を契約者は理解されているのか。

（事務局） 今回の買受価額においては、８月時点で評価を行っており、同月に評価した場合の予定価格は買受価額と同額となる。

なお、持分買受制度については、契約者から問合せ等あった場合に本制度の説明等行っている。

（委員） 近年大雨の影響で災害が多くなっており、今後増加していくことが想定されるが、評価する前に災害等発生した場合、費用等は反映されるのか。

（事務局） 今回の評価箇所においては、豪雨災害等の影響はなかった。

災害等あった場合は、現地調査において確認したうえで、被害に対して森林保険に加入している契約者については、森林保険金が支払われている。

以 上

第24回 分収林評価委員会議事概要

1 日 時 令和7年8月27日(水) 10:00 ~ 11:30

2 場 所 九州森林管理局 2階大会議室

3 議 題 下記分収育林契約箇所の国による費用負担者の持分買受価額について

議案番号	署等	契約番号	林名区分	国有林	林小班
1号	福岡	021401024	分収育林	虫生津山	3099 ち2
2号	福岡	051402032	分収育林	山手山	25 ら1
3号	福岡	011416095	分収育林	花園	2005 い1
4号	福岡	031401039	分収育林	荒田	3100 へ1
5号	福岡	011402073	分収育林	宝満山	10 り2
6号	福岡	021401113	分収育林	河内	3100 い2
7号	福岡	601401083	分収育林	中河内	3095 い2
8号	佐賀	601403008	分収育林	茨谷	55 と
9号	熊本南部	051414046	分収育林	高塚	2041 と1
10号	熊本南部	011411029	分収育林	山川内	1040 り1
11号	宮崎	051427051	分収育林	奈佐木	286 い
12号	北薩	631440125	分収育林	矢筈	1004 は
13号	北薩	631440054	分収育林	岳山	1097 と3
14号	鹿児島	621442112	分収育林	場貫	38 そ
15号	鹿児島	051442043	分収育林	平治	48 う1